

1月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

1月分の販売電力量の合計は、71億9,100万kWh、対前年比99.2%の実績となり、前年に比べ気温が低く推移したことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ気温が低く推移したことによる暖房需要の増加などから、対前年比101.3%と前年実績を上回りました。

○電力

電力は、前年に比べ気温が低く推移したことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、対前年比97.9%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	2,800	2,764	101.3
電 力	4,391	4,485	97.9
合 計	7,191	7,249	99.2

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2 参照）

1月の発受電電力量の合計は、80億1,000万kWh、対前年比98.3%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は113.6%で前年と同程度の豊水となりましたが、作業や点検による運転状況の違いなどから、発電量は前年を900万kWh下回る6億1,700万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を6億100万kWh下回る55億6,500万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を800万kWh下回る7,800万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を1億6,400万kWh上回る21億4,600万kWhとなりました。

(表－２：発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分			当 月 績 (A)	前 年 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	566	588	-22	96.1
		貯・揚水式	51	38	13	137.1
		計	617	626	-9	98.6
	火 力		5,565	6,166	-601	90.2
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー等		78	86	-8	90.7
	合 計		6,260	6,878	-618	91.0
	他 社 受 電			2,146※	1,982	164※
融 通			-394※	-710	316※	55.5※
揚水用動力			-2	-2	0	87.8
発受電合計			8,010※	8,148	-138※	98.3※
出 水 率			113.6	112.3	1.3	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以上